



進路だより

第5号

2026年1月16日発行

宮城県東松島高等学校進路指導部

「ある生徒の話」

教務部長

昔勤めていたある学校に入学してきた一人の女子生徒の話です。

彼女は事情があり中学校も休みがちで、入試の結果もけして良いとは言い難いものでした。入学式前の面談でもずっと眉間にしわを寄せたしかめっ面でこっちを見ようともしない彼女は、私には不平不満の塊に見えました。聞くと、先生というものに強い不信感があり、学校が嫌いとのこと。どうしたものかなと若干の不安を抱えながらのスタートでした。

しかしそんな我々の不安をよそに彼女は少しずつ変わっていきました。友達の輪に徐々に溶け込み、笑顔が増えていきました。驚いたのは最初の定期考査でした。彼女が学年トップの成績を収めたのです。そのとき彼女は言っていました。「学校に来て授業を聞いていたら面白くて、気づいたら点数が取れてました。『わかる』って楽しいですね。」

もともと面倒見の良かった彼女は、勉強で困っている他の生徒をよく助けていました。周りの生徒たちも彼女を深く信頼し、私の言うことには耳を貸さなくても、彼女の言葉なら素直に聞き入れるほどでした。かつての欠席の多さが嘘のように、彼女は一日も休むことなく登校し、いつしか「皆勤賞」の常連になっていました。それと同時にあれほど頑なだった「学校嫌い」を彼女自身が克服してくれたことが、私には一番うれしく思えました。

卒業後、彼女は全国展開している小売店に入社しました。最初は地元の店舗からキャリアをスタートさせ、そして3年後には他県の店舗へ羽ばたいていきました。

その後も帰省の度に学校に顔を見せて近況報告をしてくれました。最後にあったときに、彼女は笑ってこう話してくれました。「新店舗ができる度に開店の準備を任せられ全国を飛び回っているんです。アパートに帰る暇もないんですよ。」

多忙な日々の中で大変なこともあるだろうに自信に満ちた笑顔で話す姿を見ていると、私は彼女の人生に関わることができて本当に良かったなと思いました。

入学前の不平不満の塊のようなしかめっ面は、もうどこにもありません。今はただただ、彼女がこれからも幸せに歩んでくれることを願うばかりです。



卒業年次の皆さんに～進学をする前に・就職をする前に～

進路指導部長



卒業年次の皆さん、卒業後の生活の準備を具体的にする時期になりました。進学する皆さんは、大学や短期大学、専門学校から入学までの課題が出ているはず。この課題はやらなければならないものです。「何とかなるだろう」はもう通用しません。必ず取り組んでください。就職する人は環境が大きく変わることへの準備をしてください。毎日起きることすべてが今までと違うことです。それが日常になっていくことに覚悟を持ってください。働くことは大変です。でも、お給料をもらって、そのお金をライブや推し活に使ってください。それが自分で働いてお金を稼ぐ喜びや楽しみでもあります。入学年次、中間年次の皆さん。次は皆さんが動く番です。もうすでに進路室に来て、相談をしたり資料を見てくれたりする生徒がいることは、とても嬉しいことです。まずは、今年1年の成績や出席状況を振り返ってください。そして、自分が何をしたいのかを考え、教えてください。皆さんの次に向かおうとする動きをお手伝いするのが進路指導部です。



地学地就職コーディネーターより入学年次・中間年次の皆さんへ

地学地就コーディネーター



私からのお願いです。進路先については、早い時期から保護者と相談しながら方向（進学や就職）を決めておいてください。決まりましたらその目標をかなえるため勉強や就職の為の資格取得（参考：進路だより15企業の声2）に向け最大限努力してください。また、理由がない欠席はしないよう極力お願いします。理由についてはこの後に説明いたします。就職活動の前に就職や仕事（企業）について、少し知っておきましょう。

就職（企業でのお仕事）は、経済的な安定や生活の基盤を築くための方法で、自分が生きるため（衣・食・住）の手段です。一方で自分を活かすための手段でもあり、自分の強みや価値観をやりたい仕事に反映させることができ、頑張った成果や結果が評価されることによって、充実感や達成感につながり、自分の成長「働く意味」につながってゆくのだと思います。仕事（企業）は、人生の大半に時間を費やします。どの企業に行っても決して楽な仕事はありません、日々自分自身の能力と労力と努力を奉仕しながらサラリー（給料・お金）を得ることで、「自分が最低限幸せに暮らせること」が保証されます。その義務（勤労・納税）を果たすことによっておのずと社会への貢献につながってゆきます。

このように働く意義や意欲について少しずつ理解を深めながら、この後の就職活動において希望する業種や企業、職種について出来る限りの調査や分析を行い、見聞を広め、自分の適性に合った働きやすい会社（自分が働いている姿をイメージし長く働ける職場）選びを行なってください。就職活動は、学生から社会人へ踏み出す大切な一歩（自律）です。自分が入りたい企業の内定を勝ち取るためにも、早い段階から準備を進めておいてください。

私が企業を訪問して感じたことは、多くの企業が採用時に重要視するのは①「欠席日数」です。企業では欠席日数＝会社欠席にとらえられ、休みが多いと、生産性低下や利益損失、社員のモチベーションの低下につながる可能性があるからです。もう一つは②「コミュニケーション力」です。相手の話を聞き・理解し・伝える事ですが、分かりやすく伝える力がないと、仕事上のトラブルやクレームにつながります。さらには③「協調性」や「人と関わる力」です。その力がないと、孤立や誤解が生じ、会社目標並びに利益に悪影響を与えるからです。続いて参考までに、企業の経営はどのように成り立っているのでしょうか？企業は目標を掲げながらPDCAサイクル、Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（確認）→ Act（改善）をうまくまわし、売上・利益を出さなくてはなりません。その目標を達成する為、人（担当者）やチームが必要で、チーム一丸となり、日々業務をハウレンソウ（報告・連絡・相談）しながら皆で進捗を確認し共有しております。これらがうまく回らない（前に進まない）と事故や品質低下、売上・利益（給与）に影響するからです。「企業は人なり」企業は人でありたいっており、その企業が高校生に求める人物像は、継続（休まない）できる、伝えられる、協調できる人が求められる（最低限）ゆえんだと考えております。



進路室の資料について

進路室には進学や就職に関する資料がたくさんあります。また、パソコンを使って求人票を調べたり、プリントアウトしたりすることもできます。ぜひ活用してください。



進路室のスーツ

進路室には20着ほどの男女のスーツが置いてあります。これは、皆さんの進路活動の手助けになればということで、多くの方から支援していただいたものです。このスーツを着用して試験で力を発揮してください。



当面の進路に関する動き

1月23日 (金)	金銭租税教室
	25年次 I部 II部 金融経済教育（東北財務局）
	24年次 I部 II部 金融経済教育（SMBCコンシューマーファイナンス）
	23年次・22年次 I部 II部 租税教室（石巻税務署）
	22年次・23年次・24年次・25年次 III部 租税教室（石巻税務署）